

R8海外大学出願の流れと必要書類

海外大学進学は、自分の関心や将来の目標に合わせて学びの場を選ぶ進路の一つです。ただし、日本の大学とは出願時期や必要書類が異なるため、早めの情報収集と計画的な準備が欠かせません。

この記事では、海外大学出願の基本的な流れと、準備しておきたい主な書類を整理します。

1 出願までの準備スケジュール

海外大学への出願では、出願時点の書類だけでなく、高校在学中の成績、英語力、活動実績の積み重ねも重要になります。出願締切から逆算し、次のような流れで準備を進めましょう。

時期	主な準備	ポイント
高1、高2	学校の授業を大切にし、各教科の成績を安定して積み上げる。 英語試験の準備や、学びたい分野、留学先の国・地域、大学について情報収集を始める。	高校在学中の成績は、海外大学出願で重要な判断材料になるため、早い段階から意識して取り組む。
高2後半 ～ 高3前半	志望する大学や専攻を具体化し、出願条件、必要書類、締切、学費・生活費、奨学金の有無を確認する。	英語試験は、結果通知やスコア送付にかかる期間も考慮し、余裕を持って受験計画を立てる。
高3	成績証明書、英語試験スコア、エッセイ、推薦状などを準備し、オンラインで出願する。	合格後は、入学手続き、ビザ申請、住居の確保、航空券の手配など、渡航に向けた準備を進める。

2 国・地域による出願方法の違い

海外大学の出願方法は、国や地域によって異なります。共通出願システムを利用する場合もあれば、大学の出願サイトから直接出願する場合があります。志望校ごとに、出願方法、必要書類、締切を確認しましょう。

○ アメリカ

Common Application(Common App)などの共通出願システムを利用できる大学があります。基本情報や活動歴、エッセイなどを入力して複数大学に出願できますが、大学ごとに追加エッセイや締切が異なる場合があります。

【参考:Common App ウェブサイト】

<https://apply.commonapp.org/login>

○ イギリス

大学学部課程への出願では、UCAS を利用するのが一般的です。日本の高校卒業後にファウンデーションコースを経て学部課程へ進学する場合は、出願方法が大学やプログラムによって異なります。

【参考:UCAS ウェブサイト】

<https://www.ucas.com/>

○ オーストラリア・ニュージーランド

大学の出願サイトや大学が指定する出願窓口から出願することが多くあります。直接学部課程に出願できる場合もありますが、ファウンデーションコースやパスウェイプログラムを経由する場合もあるため、志望校ごとに確認しましょう。

3 出願に必要な書類

出願に必要な書類は、大学や国・地域、専攻によって異なります。まずは志望校が提供する最新の情報で、出願条件や手続きの詳細を確認しましょう。

一般的には、次のような書類が求められます。

(1) 成績証明書

高校での成績を示す書類です。海外大学の学部出願では、高校在学中の成績が重要な判断材料となり、日本の評定平均や各科目の成績が GPA に換算して確認されることがあります。英文の成績証明書や学校からの直接送付が必要となる場合もあるため、提出方法を確認し、早めに学校へ相談しましょう。

(2) 英語能力証明書

英語で授業を行う大学では、TOEFL iBT、IELTS などの英語資格試験のスコア提出が一般的です。大学によっては、Duolingo English Test(DET)などが認められる場合もあるため、必要な試験の種類やスコア、有効期限を志望校ごとに確認しましょう。

(3) 志望理由書・エッセイ

志望理由書やエッセイは、自分の関心、これまでの経験、大学で学びたいこと、将来の目標を伝えるための書類です。単に実績を並べるのではなく、なぜその大学や専攻で学びたいのかを、自分の言葉で具体的に示すことが大切です。

(4) 推薦状

担任や教科担当の先生などに依頼し、学力、学習態度、人柄、活動状況などについて書いてもらう書類です。大学によっては1通から3通程度求められることがあります。依頼する際は、締切、提出方法、志望大学・専攻、これまでの活動内容を早めに伝えましょう。

(5) その他の書類

大学や専攻によっては、課外活動・受賞歴の記録、財政能力証明書、卒業見込証明書、ポートフォリオ、面接、追加課題などが必要となる場合があります。特に芸術、建築、デザイン系の専攻では、作品集の提出が求められることがあります。

4 まとめ

海外大学出願では、成績証明書、英語資格試験のスコア、エッセイ、推薦状など、準備に時間がかかる書類があります。必要な基準や提出方法は大学・専攻によって異なるため、志望校の公式情報を確認し、早めに計画を立てましょう。

また、東京都教育委員会では、都立高校生や保護者等を対象に、海外大学等進学アドバイザーによる支援を行っており、アドバイザーが一人ひとりの状況に合わせて、進学先の選定から出願準備、合格後の手続きまできめ細やかな個別サービスを提供します。出願書類・エッセイ、奨学金申請などに不安がある人は、こうした支援も活用しながら、一つずつ準備を進めましょう。

海外大学等進学アドバイザー

開設期間：令和8年5月1日（金）～令和9年3月31日（水）



【申込フォーム】

https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_tokyo/

【対応時間】午前10時～午後6時

対 面 対 応：土日のいずれか

※夏季休業期間（7月21日～8月31日）は、平日5日間のうち、4日間は営業

電話・メール対応：平日全日及び土日いずれかは営業

※日祝・年末年始除く